

自信を無くした人に、『自信持ちなさいよ！』とよく使います。自信を無くした人に自信を持ってとは無理なことです。『自分自身を信じなさい』『己自身を信じなさい』と云っているのです。自分の何を信じるかと云いますと、それは自分の可能性なのです。自信を持つと云うことは、『自分の可能性を信じること』なのです。

そこでおシャカさんが云われた
『天上天下唯我独尊』も自惚れの言葉では無く、「かけがえの無い私と、かけがえの無い自然とを大切に」と。そしておシャカさんの最期の言葉『自灯明・法灯明（自らを灯火とし、法を灯火とせよ）』と在るように、自分の可能性を信じて、自然の節理に逆らうことなく（無理なく）生きたいものです。たとえ「全てを無くしても明日がある」のです。